

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	立命館大学茨木国際寮(仮称)建築	階数	地上5F
建設地	大阪府茨木市上中条1丁目68番1、	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	168人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年1月 予定	評価の実施日	2016年11月11日
敷地面積	1,302㎡	作成者	鴻池組 樋口展寛
建築面積	690㎡	確認日	2016年11月22日
延床面積	3,267㎡	確認者	鴻池組 井上和彦



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 92 138 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 2.7**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 2.6**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合 ・留学生と日本人学生、留学生同士、留学生と地域の方々等、様々な「交流」が図れる施設。 ・大学敷地外に建つ施設として、大学の品格や主義を十分表現する。 ・敷地周囲には緑地帯を設けることで、敷地周辺環境に配慮した計画とする。また、敷地南側には中庭を設け、利用者に対して緑豊かな、潤いのある環境を提供する。		その他 特になし。
Q1 室内環境 ・6寮室と共用部分(LDK、WC、US等)を1ユニットとしたシェアールームタイプを採用し、様々な「交流」が図れる室内環境を創出。 ・全館禁煙	Q2 サービス性能 ・身障者に配慮し、管理員室まで点字ブロックを配置。 ・各階は清掃・メンテナンスのしやすい明快なプラン。 ・2~5階の寮室は全周バルコニーとし安全性に配慮。	Q3 室外環境(敷地内) ・元茨木川緑地景観形式地区の景観形成基準に準じた景観形式。 ・単調にならないよう、色彩や手摺子のデザインに配慮。
LR1 エネルギー ・全灯LEDとし、共用廊下・階段に人感センサーを採用する。	LR2 資源・マテリアル 特になし。	LR3 敷地外環境 ・サービス車両駐車スペースを1台確保。 ・適切な台数の平面駐車場を敷地内に確保。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0114

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】		建物名称	立命館大学茨木国際寮(仮称)建築工事					
		建設地	茨木市上中条1丁目68番1、1028番3、1030番7					
		用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-		
	CO2削減					3		
	省エネ対策					3		
	みどり・ヒート アイランド対策					2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							対象外	
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.2	3	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	3.0	3		
				住戸・宿泊	3.0			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価						3.0
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価						2.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価						1.9
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価						3.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価						3.4
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								